

祝 2023年度コムハウス入所式

やわらかな春の日差しに包まれる中、4月4日（火）に入所式がとりおこなわれました。6年ぶりに、コムハウスへ新しいなかまを2名お迎えする事ができ大変嬉しく思っています。こもれび班・すまいる班それぞれへなかまいりです！

コムハウスは「はたらく場」「楽しむ場」として、なかまの生きがいや楽しみのある生活を目指しています。職員はなかまが自分らしくいられるように1人1人の思いに寄り添い、これから始まるコムハウスでの生活が生き生きと輝いた時間となるようにチーム一丸となって支えています。また、なかまの魅力を地域の方々にも知ってもらえるよう発信を続けていきます。

これから社会人として、お仕事や様々な活動と一緒に取り組んでいきましょう！



こもれび班 上原 圭人さん

百瀬敬塩尻市長がコムハウス・ねくすとを見学

施設内、蒔割り、療育活動の様子を見学されました

お子さんが養護学校に通う重度心身障害児親の会の代表者が、塩尻市長あてに要望書を提出されました。その内容は、「塩尻市には生活介護事業所が1つしかなく、重症心身障がい者を受入れる事業所が少ない。子ども達が卒業となる10年後、子ども達の過ごす場所がない」という切実なものでした。

この要望を受け、市長と親の会との懇談会が行われ、市長自身が「重度の障がいのある方々が過ごす場所とはどんな場所か知りたい」と希望され、コムハウスとねくすとの見学が実施されました。当日は、市長さんの他、障がい福祉課長と係長も来られ、初めて目にする障がいのある方たちの姿や活動などに感心され、大変さを実感されていたように感じました。また、塩尻市からコムハウスに通所している方のお母さんや妹さんも懇談され、親亡き後の心配も話されました。

市が目指す「障がいの有無にかかわらず、1人1人が尊重され、自己選択・自己決定によって希望する暮らしを決めることができる」「1人1人に居場所や活躍の場があり、支え合いながら共に生きる」という姿に少しでも近づけることができるように強く願うものです。

コムハウス施設長 百瀬

